

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE



CAR No.34

2013/10/20

CAR No.35



スーパーFJ 東北シリーズ 第 5 戦



田村 勇太郎

小村方 喜章

モーターフリークアルビGIA

アルビビヨンドEDギアKKS

CAR No.36

CAR No.37



湊 雅之

早坂 祐希

アルビRT 玉三郎 DreamED

アルビメークウィナーGIA

10月20日(日) 予選・決勝

仙台ハイランドレースウェイ 1 LAP=4.063km 出走：5台

予選結果：湊選手 1位 早坂選手 3位 小村方選手 4位 田村選手 5位

決勝結果：湊選手 2位表彰台 早坂選手 3位表彰台 小村方選手 4位 田村選手 5位

## 湊選手2位、早坂選手3位でダブル表彰台獲得！

### ■10月20日(日) 予選

天候：雨 コース：ウェット 気温：13℃ 湿度：84% 路温：13℃

10時35分予選開始。先頭でコースインすることでクリアラップを取ろうとしていた湊選手だったが、他車がコースイン放送前にピットロードに進入・待機し、そのままコースオープン。遅れてコースインする形となった湊選手だったがなかなかクリアラップが取れないため一度ピットインし、再度コースに出て行くが、2番手タイムにとどまってしまった。しかし、先頭でコースインしベストラップをマークした他車がレギュレーション違反により1グリッド降格のペナルティを受け、湊選手がポールポジション獲得となった。

早坂選手、小村方選手、田村選手はそれぞれ3番手、4番手、5番手タイムをマークした。

### ■10月20日(日) 決勝

天候：雨 コース：ウェット 気温：13℃ 湿度：86% 路温：11℃

13時40分決勝開始。スタート直前から雨が激しくなってきたため、2周目までセーフティカーが導入された後、レーススタート。

序盤、各車順調に走行を重ねる中、3周目に2番手を走行していた他車が痛恨のスピン。これにより早坂選手が2位、小村方選手が3位となり、トップの湊選手を先頭にアルビレックス・レーシング・チームのワン・ツー・スリー体制となる。

しかし、スピンからいち早く復帰した他車が追い上げを見せ、小村方選手、早坂選手がかわされてしまう。一方、湊選手はセーフティカーが導入された際、シールドを少し開けシールドのくもりを除去しようとした際、両目に砂が入ってしまうというアクシデントが発生、ペースが上がらない。それでもどうにか周回を重ねるも、ペースで上回る他車にかわされてしまい順位を落とすことに。レース終盤になってようやく目のゴミは除去できたものの、既に1位の車両とは開きがあり、悔しい2位チェッカーとなった。

早坂選手は3番手に落ちたものの好タイムをキープし、湊選手より約1秒遅れて3位でフィニッシュ。小村方選手、田村選手がその後に続きチェッカーを受けた。

#### ○田村選手コメント

前回に続き完走を果たすことができました。デビューから2戦連続雨のレースなので、ドライ路面でレースをしていい結果を残したいです。東北シリーズ第4戦からの出場となりましたが、チームの皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

#### ○小村方選手コメント

第4戦に続きウェット路面でのレースでしたが、スピンしてしまうなど反省点の多いレースとなりました。今年1年、自分としては満足のいく成績を残せなかったですが、チームの皆さんにはしっかりサポートしていただきありがとうございました。

#### ○早坂選手コメント

一時は2位になることができましたが、ポジションを守ることができなくて悔いの残るレースとなりました。今年は表彰台に立つことができましたが、その真ん中に立つことができなくて素直に喜べない点もあります。日本一決定戦に出られれば、貪欲に結果を求めていきたいと思います。最後に、チームの皆さん、サポートして頂いた皆さん、1年間ありがとうございました。

#### ○湊選手コメント

レース前にまだシリーズチャンピオンが確定ではないことが分かっていたので、勝って決めようと思っていました。しかし、目にゴミが入るといふまさかのアクシデントにより、充分勝てる可能性のあったレースを落としたのはかなり悔しいです。年末の日本一決定戦に向けて、出場が決まったら最大限のパフォーマンスを発揮できるよう頑張ります。最後

になりましたが、チームの皆さん、サポートして頂いた皆さん、1年間本当にありがとうございました。

### ○中村監督コメント

ポイント集計ミスのため、シリーズチャンピオンを確実なものにするべく仙台ハイランドに乗り込みました。

湊選手は金曜日のフリー走行を通じて安定感が増したものの、もうひとつ決め手に欠く内容でした。決勝となる日曜日は雨が予想されていたため、ドライセットを詰めるというよりマシンバランス・本人のスキルアップに努めました。

早坂選手については、走行そのものをオンボードカメラ映像で確認しながら、もうワンランク上のマシンコントロールに積極的に取り組みました。小村方選手は基本的に走行そのものの見直しから入りました。田村選手は今回2戦目ということもあり完走を目的に挑みました。

湊選手の予選に関して、他車がルール違反によりワングリッド降格にはなったものの、速さではペースが上がらず負けていました。早坂選手は自分のペースを守り淡々と走り、想定ラップタイムをマークしました。小村方選手、田村選手に関してはウェット路面を確認しながらの走行となりました。

決勝について、ヘビーウェットでスタート前に雨足が強くなりセーフティカースタートとなりました。車速が遅い中、湊選手は曇止め対策が万全でなく、シールドを少し開けてくもりを除去しようとしたとたん両目に砂が入ってしまい、目が開けられない状況になってしまいました。その後本人の努力によりレーススピードのままシールドを全開にし、雨水で目を洗いながらゴミを除去しましたが、時既に遅しというバッドラックな展開となりました。

早坂選手は淡々とウェットで好タイムをキープし、見事3位を獲得しました。小村方選手、田村選手はコースオフ、スピンを繰り返しながら無事完走致しました。

総じて今年度スーパーFJの東北シリーズ開催に努力して、無事シリーズを全レース行うことができました。来年度もアルビレックス・レーシング・チームとして、東北シリーズが無事開催できるよう尽力して参ります。また、湊選手に関しては不運に見舞われシリーズポイントランキングは同点となり、優勝回数関係でシリーズチャンピオンは逃しましたが非常に努力しました。来年こそは東北シリーズのタイトルを獲得したいと思います。一年間東北シリーズを応援していただいた方々ありがとうございました。



**P PLUS**  Nankai Plus.Co.,LTD.

**鈴木会計**  
埼玉・川口  
<http://www.tkenf.com/sds>



**Moty's** 新潟日報

**たわら屋**

**SPN**  
SPEED PARK NIGATA

- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ